

折り紙で頭の体操



～講師の指導を真剣に受ける受講生～

文化
なかの

中野市公民館報

2010
No.58
(通巻No.590)

1

発行
中野市中央公民館
編集
文化なかの編集委員会
〒383-0025
中野市三好町一丁目4番27号
TEL 0269-22-2691
FAX 0269-26-2342

高齢者大学

「折り紙教室」

北部公民館は12月から3月まで全10回、高齢者の心身の健康、充実した生活と生きがいを創造するため、高齢者大学を開講しています。

第3回は12月15日(火)に「折り紙教室」を開催し、40人の受講生がお正月に向け、町田たつ江先生の指導で、連獅子を見事に折りあげ、色紙に貼って持ち帰りました。

受講生からは「指先を使って頭の体操になりました。早速、孫にも教えたと思います」「すてきな折り紙ができました。お正月かざりに大切にします」との声が聞かれました。

今月号の特集
・公民館レポート
・編集委員の体験取材

あおぞら

明けまして、おめでと
うございます。本年も
「文化なかの」をよろし
くお願いいたします。
昨年を振り返ると、い

ろいろな出来事があった。印象に残ったニュースを列記すると「派遣村、裁判員制度の施行、政権交代、薬物問題、凶悪事件、オバマ政権、北朝鮮の核・ミサイル問題」など、国内外様々である。

身近なところでは、昨年3月、メキシコを基点に世界的な流行をきたした「新型インフルエンザ」だ。連日、関連報道を見るたびに、不安な気持ちになったことを思い出す。

また景気への対策とともに、地球温暖化に対する世界的な行動については、一市民として大いに関わっていかなくてはならないだろうし、世界中で協力し合わなければならぬであろう。今年も大きな課題を背負ってのスタートとなった。

(草食人)

ミュージカルを楽しもう！

一流から学ぶきっかけがえのない体験宝物に

中央公民館では、子ども達の音楽や身体を使った豊かな表現力を培い子どもが輝くふるさとの実現を目指し、子ども音楽講座「ミュージカルを楽しもう！」を11月23日、12月12日、13日の3回にわたり豊田文化センターで開催しました。

講師に2009年ローズコンサート出演のソプラノ歌手・東京学芸大学准教授嶋崎裕美先生ほか、バレエピアニストの福原智子先生、

バレエダンサーの矢嶋美紗希先生の一流の講師3人を迎え、歌、ダンス、芝居を総合した参加体験型学習・ワークショップを開講しました。

市内を中心に小・中学生約60人が参加し、ミュージカルを題材としたワークショップを体験しました。

ワークショップでは上級生が下級生をリードしたり、初めての友だちと仲間作りができるよう学

校・学年・男女比を考慮した3グループに分け、心と体を開放し音楽によってイメージすること、体を動かし歌うなどの体験から始まりました。

課題曲「ドレミの歌」「小さな世界」「トウモロコシ」「ジェリク ルキャッツをしってるか」の4曲についてグループで意見交換し、表現について納得いくまで討議し

「今まで体験したことのないものへのチャレンジ」や「作り上げる喜び」を学び合いました。

最終日の発表会には、家族や地域住民、約120人がワークショップの成果を参観しました。プログラムに沿って子ども達一人一人が音楽表現の楽しさや喜びを発表し合いました。

最後に講師によるエキジビションがあり、プロのステージに会場は深い感動に包まれました。

子ども達から「発表の時は緊張したけど、今までやってきた事ががんばった事を思い出しながら一杯できました」「話し合いもダ



子ども達をプロの世界に誘う

「今まで体験したことのないものへのチャレンジ」や「作り上げる喜び」を学び合いました。最終日の発表会には、家族や地域住民、約120人がワークショップの成果を参観しました。プログラムに沿って子ども達一人一人が音楽表現の楽しさや喜びを発表し合いました。最後に講師によるエキジビションがあり、プロのステージに会場は深い感動に包まれました。子ども達から「発表の時は緊張したけど、今までやってきた事ががんばった事を思い出しながら一杯できました」「話し合いもダ
「今まで体験したことのないものへのチャレンジ」や「作り上げる喜び」を学び合いました。最終日の発表会には、家族や地域住民、約120人がワークショップの成果を参観しました。プログラムに沿って子ども達一人一人が音楽表現の楽しさや喜びを発表し合いました。最後に講師によるエキジビションがあり、プロのステージに会場は深い感動に包まれました。子ども達から「発表の時は緊張したけど、今までやってきた事ががんばった事を思い出しながら一杯できました」「話し合いもダ
「今まで体験したことのないものへのチャレンジ」や「作り上げる喜び」を学び合いました。最終日の発表会には、家族や地域住民、約120人がワークショップの成果を参観しました。プログラムに沿って子ども達一人一人が音楽表現の楽しさや喜びを発表し合いました。最後に講師によるエキジビションがあり、プロのステージに会場は深い感動に包まれました。子ども達から「発表の時は緊張したけど、今までやってきた事ががんばった事を思い出しながら一杯できました」「話し合いもダ



さあ！ワークショップを始めよう



心を寄せて「ミュージカル」を歌う高学年

意見交換し連携し中高社会教育研究大会

中高公民館運営協議会（中野市・山ノ内町・木島平村・野沢温泉村の公民館が組織）は11月28日（土）、山ノ内町中央公民館で「第37回中高社会教育研究大会」を開催した。

中高地区の社会教育関係者が生涯学習を推進するため、諸課題について研究し、地域づくりに役立つことが目的で、当日は約60人が参加した。

講演会では信州大学経済学部准教授、丸橋昌太郎さんが「裁判員制度と国民生活」と題し制度の意義や役割などについて話した。

裁判員の役割は▽事実の認定▽法令の適用▽刑の量定の3つとし「裁判員には常識的判断から成り立つ経験則が求められ、専門的知識は不要」と話していた。

参加者からは「裁判員制度について、改めて考えさせられた」「大学の出前講座をどんどんやってほしい」との声が聞かれた。

分散会は、各自自治体で活動する



第3分散会「そば打ちから始めよう」

団体がレポート発表した。

▽中野市⇨赤岩M21「中高年の会の活動について」▽山ノ内町⇨古文書に親しむ会「古文書に親しむ会を通して」▽木島平村⇨木島平村そば打ち研究会「そば打ちから始めよう」▽野沢温泉村⇨遊友くらぶ「野沢温泉放課後子ども教室の活動について」が活動・課題を発表。参加者が意見交換し交流を深めた。

日々をおかしく生きて婦人のつどい



好評だったミニコンサート

中野市女性団体連絡協議会と中央公民館は12月8日（火）、中央公民館で「第33回婦人のつどい」を開いた。講師に健康運動指導士の大熊二三子さんを招き、講演会とミニコンサートに市内外から約90人が参加した。

「日々をおかしく生きて」と題した講演会では「家にこもらないで外に出て。公民館など人の集まる場所と人との会って、会話を楽しんで」そして「大きな声で笑うようにしましょう」と呼びかけていた。

ミニコンサートでは、大熊さん

と中嶋葉子さんのユニット「音泉たまご」がコカリナ・ピアノを披露した。ピアノの伴奏に合わせた読み聞かせから、歌謡、コカリナ・ピアノ演奏などで参加者を楽しませていた。

大熊さんの話は大変ユーモアに溢れ、会場は常に笑い声に包まれており、また参加したくなる講演会であった。



大熊さんのユーモアに溢れた講演会

今月の伝言板

講座の詳しい内容につきましては、各公民館までお問い合わせください。

■中央 ☎ 22-2691 ■北部 ☎ 26-0677 ■西部 ☎ 23-1024 ■豊田 ☎ 38-2922

	講座名	日時	場所	講師	備考
中央公民館	やしょうまづくり	2/13(土) 10:00~13:30 2/18(木) 10:00~13:30	中央公民館 料理実習室	中野市食生活 改善推進協議会	<定員> 30名 <材料費> 300円 <持ち物> エプロン、三角巾 ふきん、タッパー <申込み> 1月19日(火)から
	近代文学講座 「美しき信州の 源氏絵と源氏物語」	2/20(土) 13:30~15:30	中央公民館 講堂	近代文学研究者 堀井 正子 先生	<受講料> 無料 <申込み> 不要
シニア大学～公開講座のご案内～		<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 60%;"> <p>演 題 源氏物語「須磨の秋風」 講 師 信州大学名誉教授 滝澤 貞夫 先生 日 時 2月10日(水) 13:30~15:00(受付13:00~) 場 所 中央公民館 講堂 受講料 無料 【どなたでもお気軽にご参加ください】</p> </div> <div style="width: 35%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">中野市シニア大学からお知らせ</p> <p>中央公民館の補修工事に伴い、シニア大学の講座日程が変更となります。お間違えないようにご参加ください。 14回目 2月10日(水) 15回目 2月18日(木) ※1月14・28日は開講いたしません</p> </div> </div>			
西部公民館	やしょうまづくり教室	2/7(日) 10:00~12:00	西部公民館	原 楫 先生	<定員> 20名 <受講料> 300円 <持ち物> エプロン又は前掛 三角巾、マスク <申込み> 1月12日(火)から
豊田公民館	はじめての デジカメ教室	・1/20・2/3・17 ・3/3・17 13:30~15:30 (全5回 毎回水曜日)	豊田公民館	久保田 和由 先生	<受講料> 無料 <持ち物> デジタルカメラ
	自分史を書いて みませんか	・1/20 ・2/3・17 14:00~16:00 (全3回 毎回水曜日)	豊田公民館	宮川 洋一 先生	<定員> 10名 <受講料> 無料 <持ち物> 筆記用具、思い出 のある写真 <申込み> 1月18日(月)まで
	絵手紙教室	・1/22・1/29 ・2/5・12・19 13:30~15:00 (全5回 毎回金曜日)	豊田公民館	市川 典子 先生	<教材費> 別途徴収 <申込み> 1月20日(水)まで <持ち物> 絵具一式、 筆(大、中、小)、書道用墨、 書いて見たいモチーフ1, 2点
	信濃から夢に向かって	1/24(日) 10:00~11:45	豊田公民館	信濃 グランセローズ 3選手	<受講料> 無料 <内容> 選手とのトークショー とサイン会
高齢者学級～公開講座のご案内～		<p>演 題 若さを保つ心とからだ 場 所 豊田文化センター 講 師 嘉生 稀宗 先生 申込み 不要 受講料 無料 日 時 1月28日(木) 10:00~11:30</p>			

こん にちは 分館

さわやかな秋空の11月1日に恒例の区民総合文化祭が開催された。

セレモニー終了後スタート。分館員による豚汁、ポップコーン、お餅、お酒などふるまわれ、浅間会のおでん、おやきの販売。

消防署員による自動車解体ショー救出作戦は、子どもたちから大人まで興味津々、身の安全を学んだ。午後は区長さんのユーモアたっぷり

栗和田分館

の挨拶から始まった敬老会、芸能発表です。詩吟、マジックショー、ハーモニカ独奏、獅子舞など大勢の皆さんが楽しまれ、拍手を送っていた。

区民の皆さんの展示品も2団体30名の作品が展示され、菊、写真、絵画、手芸品、書道、陶芸など、どれも力作ぞろい。

栗和田はほんとうに芸術家が多いなあと思われ、楽しい1日でした。

(分館長 水野 孝夫)



自動車解体ショー救出作戦！

ふるさとの歴史

中野市内には新田村が多い。その多くは初めからか、または途中で村扱いになっている。栗和田は最も早い新田なのに、村にはならなかった。それは次の理由からと思われる。当村は江戸時代の初めの元和4年幕府代官松平清左衛門の命により黒崎治部・白井彦左の両名が開いた中野村の新田である。

宝暦12年(一七一二)には55軒、慶応元年(一八六六)には72軒、明治5年には88軒となり、着実にふえている。栗和田より軒数の少ない新田村があるのに栗和田は村とはならず、中野村栗和田組にとどまっている。思うに黒崎・

白井氏が開いた中野村新田だったからと思われる。

こうした栗和田は新田とはいえ、単なる新田ではなく、これに先だつ古い村落が箱山の麓の古屋敷にあったのである。古屋敷の近くに山はだったのでい

古屋敷から新天地へ

る石切場がある。この人達は、田畑を耕したり、石を切り出していたものと思われる。そんなわけで、ここに留まっても良かったと思うに、新天地を求めて、栗和田へ移ったのには訳があった。一つは夜間瀬川の流路変更により水害の恐れがなくなったこと。

二つには八ヶ郷の水が中野扇状地を安定的に流れ下るようになったこと。そのため生活・田用水が容易にえられるようになったことなどのためである。

栗和田の地に移り住んだ人達は田畑の仕事のほか、昔の仕事も忘れずに石工を稼業とする人達が多いのは、前述したような理由からだと思われる。ちなみに江戸時代の終り頃、アメリカの黒船に備えて幕府は江戸湾岸に大砲の台場をつくっている。この台場づくりに栗和田からも出役した人達がいる。栗和田は、いまもって石工の村ともいわれるのはこうした歴史があるからであらう。

(田中 毅)

中央公民館からのお知らせ

中央公民館では現在、補修工事に伴い全館閉鎖とさせていただきます。

利用開始
(予定) **2月10日(水)～**

公民館の利用の開始は2月10日(水)からを予定しておりますので、ご理解、ご協力をお願いします。
※詳しい内容につきましては中央公民館まで 電話22-2691



晩秋／北公園（月岡尚雄）



はなさと
花郷
Flower Home



雪化粧(さざんか)／新保（E）



忍耐(ナナカマドの実)／市内（シゲル）

花と季節の写真 募集

宛先

☎3833-0025
中野市三好町一丁目4番27号
中央公民館
☎222-2691
Eメール c-kominkan@city.nakano.nagano.jp

文化なかの編集委員会では、中野市内の花や季節の写真を募集します。未発表写真に限ります・四ツ切りまで（ワイドサイズも可）のプリント、デジタルデータ（未加工のもの）。氏名、住所、連絡先、作品名、撮影場所、花の名前等を書き送って下さい。匿名希望やペンネーム掲載はその旨をお伝え下さい。随時募集します。

季節のコラム

毎年、新年はふるさとの山、高社山の頂で迎えてきた。

大晦日というのに、日中は山岳会の仲間と道付けに日没まで追われ、夜はNHKの紅白歌合戦を見たこともなく、黙々と頂をめざしてきた。

30年を超える時の中には、吹雪もあれば雨の日もあった。

山頂の吹きだまりに雪洞を掘って夜明けを迎えたことも。

そんなことの繰り返しの中で、他の山岳会の合宿に行くとラッセルの仕方だけは褒められた。

こんなわがままが許されたのも、家族が健康であったからだと感謝している。